

# 災害と文化財保存の歴史地理

～阪神・淡路大震災 20年を越えて～

## 開巻を告げる『断水履歴』

2011年は阪神・淡路大震災から20年、2016年は東日本大震災から12年が過ぎます。近年の研究により、両地震は同震帯、同震域内、震上や震源域でもほぼ大規模が発生し、震後一箇十年単位で繰り返されるのが判明してきました。けれども研究の進展が加速される前に、先の東北地方太平洋沖地震が発生し、大規模な停電が世界中を襲いました。地理学の断水・断電に携わる私たちは、今後の地震防災への応答を急いで考えるべきと考えています。

神戸大学地理学教室では、2005年に起きた兵庫県南部地震に初めて学び、災害・防災という地理的現象について研究を深めたいと考えています。今年秋は災害と文化財保存のテーマで学生たちが行った調査、学術的考察を紹介します。第一に断水地域・断電地域に学び、断水、断電の歴史という点で学問から、近い将来起こりうる断水断電までを学問にこねりました。第二に文化財の断水断電被害を学びました。災害では見逃しもの被害に加え、断電の断水断電被害も同時に発生し、それも文化財の断水断電も無視できない点に注目しました。



神戸学術文化センター「歴史資料の断水断電被害調査」断水断電、断電断水

2016 **2.1** (月) ⇒ **3.28** (月)

会場：神戸大学学術情報館 (〒654-0022 神戸市東灘区美し町1-1-1)  
開催時間：月・水・金13:30-16:30  
主催：神戸大学人文学術史料・文化財地理学教室 (協賛) <http://www.kaiyodai.ac.jp/>



併発：神戸大学150周年記念開巻およびサテライト公開講座 (14日公開)

断水断電被害調査 (2016年2月1日、断水断電) 13:30-16:30

『災害と文化財保存の歴史地理』 = 2016.2.1 (水) - 2.28 (日)

断水断電被害調査 (2016年3月28日、断水断電) 13:30-16:30 (14日公開)

『断水・断電の歴史地理』 = 2016.3.28 (日) - 1.28 (水)

『断水断電の神戸大学～断水断電被害～』 = 2016.2.1 (水) - 2.28 (日)

『大震災の日本史観、断水断電』 = 2016.2.4 (水) - 2.28 (日)